

まちづくりの功績に感謝を込めて
平成28年度功労者・善行者表彰式

平成28年度津別町功労者・善行者表彰式が、文化の日の11月3日、中央公民館において執り行われました。
今年度は、功労者（社会福祉、自治、産業開発、消防）表彰を7氏、善行者表彰を1氏1法人が受賞。佐藤多一町長から受賞者一人ひとりに表彰状と記念メダルが贈られ、町の発展や振興に多大な貢献をされた方々の功績を称えました。
続いて鹿中順一町議会議長、北所寿志雄町表彰審議委員会委員長より祝辞があり、受賞者を代表して茂呂竹裕子さん（自治功労者）が謝辞を述べられました。
受賞者の皆さま、おめでとうございます。



▲前列左から成田英子さん、佐藤町長、茂呂竹裕子さん、柏葉孝雄さん、後列左から丸玉産業津別工場長・松岡道雄さん、中村康彦さん、吉田敏一さん、三瓶ふみ子さん、本間昌子さん（中田清美さんは都合により欠席）

「当地体操『かるっちゃんSTEP』」初披露
各地区の仲間が集いサロン交流会

11月1日、町内各地区で行われているサロン活動の仲間が一堂に会する「サロン交流会」（主催 津別町、津別町社会福祉協議会）が、中央公民館で開催されました。
豊永第4げんきサロンの皆さんのハンドベル演奏で幕を開けた交流会では、続いて津別版「当地体操『かるっちゃんSTEP』」が初披露されました。役場職員によるオリジナル曲に運動指導士の石川朋美さんが振り付けした軽快な体操は、今後各サロンで運動不足解消や健康増進に役立てられる予定です。
健康づくりのためのレクリエーションや昼食、スライドによる各地区のサロン紹介、新規サロン紹介なども行われ、参加者は楽しいひとときを過ごしました。



ホームステイで異なる文化を体験
ニュージールランド研修報告

津別町青少年海外研修派遣事業によるニュージールランド研修から帰町した津別高校の生徒（いずれも2年生）が、11月1日町長らに研修終了の報告を行いました。
10月14日から26日まで、オークランド市内でホームステイをしながら高校通学プログラムなどに参加した生徒たちは、「多民族国家で明るく大らかな人が多かった」「料理の味付けの違いに戸惑ったが、ホストファミリーは親切だった」、「どの家にも子どもたちが遊べる広い庭があった」などと、それぞれ印象に残った事がらを話しました。
また、現地の生徒たちと一緒にバスケットボールで汗を流すなど、若者らしい積極的なコミュニケーションで、交流を深めました。



まちのわだい

手づくりステージとパフォーマンスショー
じどうかんフェスタ開催

『じどうかんフェスタ2016』が、11月5日、児童館つべつんで開催されました。
午前中の「こどもステージ」では、児童館・つべつ児童クラブの子どもたちが、なわとびのダブルダッチや一輪車、ダンスなど、日ごろの練習成果を披露。音楽愛好サークル・RECつべつのリコーダー演奏も行われ、手づくりの各種ゲームや工作などが楽しめるブース、軽食コーナーが開店しました。
午後からは、テレビなどでも活躍しているナカムラ・タイチさんによるパフォーマンスショーが開演し、パントマイム、マジック、パルーンなど多彩なパフォーマンスで子どもたちを沸かせました。



午後からは、テレビなどでも活躍しているナカムラ・タイチさんによるパフォーマンスショーが開演し、パントマイム、マジック、パルーンなど多彩なパフォーマンスで子どもたちを沸かせました。

国勢調査の調査員として長く従事
鹿中順一さんに平成28年度統計功績者表彰

恩根の鹿中順一さんが、平成28年度統計功績者表彰（統計調査員表彰）を受け、11月7日、町長室で表彰状の伝達式が行われました。
鹿中さんは平成27年国勢調査まで、9回にわたり調査員として従事し、国の統計行政に貢献された功績が認められたものです。
佐藤町長から表彰状並びに賞品の銀杯を手渡された鹿中さんは、笑顔でお礼を述べられました。



町の高い国保税収納率が評価される
国民健康保険団体連合会表彰

平成24年度から3年間、国民健康保険税の収納率向上に努め、国保事業の充実強化に優れた成果をあげたとして、国民健康保険の保険者である津別町が、今年度道内の保険者で唯一表彰を受けました。
毎年度、国保税の高い収納率を維持していることが評価されたもので、11月10日にオホーツク総合振興局社会福祉課の桑原主幹が町長室を訪れ、佐藤町長に表彰状が伝達されました。



地域おこし協力隊員が津別町に来て学んだこと、感じたことをつづります。

37 焼き立てのパン

申村優也

だらけきった毎日を過ごしてきた自分を変えていきます。様々な行事に積極的に参加していきたいと思ひます。

はじめまして。10月に地域おこし協力隊として網走市から引越してきた中村と申します。

私の協力隊としての役割は、新たに設立される予定の障がいを持つ方を対象としたグループホームの支援員として、利用者の方の生活をより良いものにしていくことです。

また、グループホームの設立に向けて現在は、10月より就労継続支援B型として事業が開始された、津別町にある「クレシエ」というパン屋さんで研修をさせていただいています。

私が、津別町へ来てから約1カ月が経ちました。この1カ月の多くは、「クレシエ」での研修でした。私の業務内容といえば、

利用者の方と一緒に新聞配達を行ったり、まかないを作ったりなどです。最近では、2階での事務作業が増えたのですが1階から香る焼き立てのパンの匂いがとてもおいしそうなのでお腹を空かせてしまいます。...

そんな中、私が「クレシエ」で最初に食べたパンは塩パンでした。塩パンという名前から、私はその味を侮っていません。しかし、実際に食べてみると少量の塩とバターがパン自体の甘さを引き立てていて、また食べたいと感じさせる味でした。

初めての記事だったため、自己紹介、業務内容とパンの話で終わってしまいましたが、今後ともよろしくお願ひいたします。